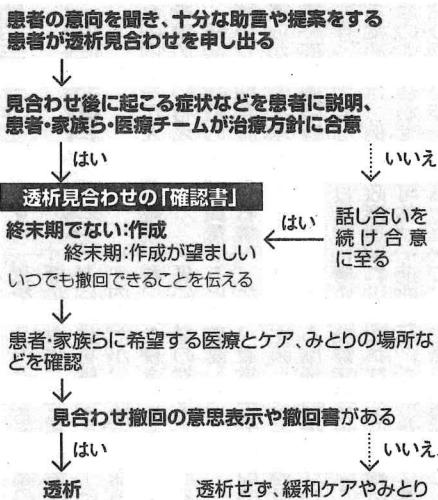


日本透析医学会の提言案のポイント



透析見合わせ 学会が提言案

決める手順 終末期以外も

日本透析医学会は20日、人工透析をやるかどうかを決める手順を定めた、新たな提言案を公表した。これまでの提言は、終末期の患者を想定していたが、今回は終末期でない人が透析の見合わせを希望した場合も含め、患者側の意思をくみとった医療やケアを提供するまでの流れを示した。会員や一般から意見を募り、今年度中に決める予定だ。透析は年間3万8千人ほどが新たに始め、全体では33万人ほどが受けている。1985年に50歳ほどだった

た透析患者の平均年齢は現在、70歳近い。高齢やほかの病気を抱えるといった理由から、終末期ではない患者が透析を希望せず、見合わせる事例も増えている。昨年3月には、公立福生病院（東京都福生市）で、透析を中止した女性が亡くなったという事実が発覚。個別の事例に対応できる手順作りが課題になっていた。透析の効果などを十分に伝えたらうで、今回の案では、終末期でない患者が透析をしたくないと希望すれば、呼吸困難や突然死などがその後におこりうる症状とケアについて説明。患者が望む医療とケアについて、医療チームと患者・家族らで繰り返し話し合う。見合わせで合意に至った場合、「確認書」を作り、いつでも撤回できると伝える。見合わせを撤回したいと患者が言えば、すぐ透析を始める。

透析をやめると通常、数日から数週間ほどで心不全などになってしまう。終末期の患者についても手順は基本的に同じだが、見合わせに関する確認書などは、作ることを望ましいとしている。（水戸部 美）

ベストセラー医師による、 初の本格医療小説! 発売即重版!

東京オリンピックが終わり、疲弊してゆく我が国で、病を抱え、死を願う男と女が、国家の罅に墮ちていく……。

2024年、日本で 「安楽死法案」可決!?

安楽死特区

小説

長尾和宏

Nagao Kazuhiko

本体1400円＋税

「尊厳死」と「安楽死」がまったく違う概念であること、どれほどの人が知っているだろうか。人生の終わり方について、真剣に考えるきっかけとなる書。

石破茂（衆議院議員）

主要登場人物は誰もがミステリアスなドラマを抱えており、誰を主人公に据えても映画が成立してしまう。「ハットマン」のジョーカーがコロナ禍存在するような作品で嬉しい。

高橋伴明（映画監督）

死にたい、と願うのはエゴですか？
生きていて、と望むのは愛ですか？

国家は、安楽死法案を通そうと目論んでいますよ。社会保障費で国が潰れそうだからです。それならば、長生きしたくない人に早く死んでもらったほうがいい、そう考えています。（本文より）